平成24年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年4月12日

上場会社名　株式会社トランザクション　　上場取引所　大
コード番号　7818　URL　http://www.trans-action.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 石川　諭
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役　(氏名) 中塚　莞爾　TEL 03-6861-5577

四半期報告書提出予定日　平成24年4月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年8月期第2四半期の連結業績(平成23年9月1日～平成24年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年8月期第2四半期	4,257	11.3	200	54.7	205	128.3	113	61.0
23年8月期第2四半期	3,824	―	129	―	90	―	70	―

(注)包括利益　24年8月期第2四半期　143百万円　(111.6%)　23年8月期第2四半期　67百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年8月期第2四半期	36.28	35.50
23年8月期第2四半期	23.43	23.19

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年8月期第2四半期	4,019	1,948	48.5
23年8月期	3,766	1,849	49.1

(参考) 自己資本　24年8月期第2四半期　1,948百万円　23年8月期　1,849百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年8月期	―	0.00	―	30.00	30.00
24年8月期	―	0.00			
24年8月期(予想)			―	18.00	18.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無
当社は、平成23年9月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。

3. 平成24年8月期の連結業績予想(平成23年9月1日～平成24年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,060	8.5	675	34.3	654	41.1	383	27.1	122.35

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年8月期2Q	3,131,600 株	23年8月期	1,565,800 株
② 期末自己株式数	24年8月期2Q	205 株	23年8月期	69 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年8月期2Q	3,131,431 株	23年8月期2Q	1,506,096 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
2. 当社は、平成23年9月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。 前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。
3. 当社は、平成24年4月20日に機関投資家・アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。その説明内容(動画)については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○目　次

１．当四半期決算に関する定性的情報　・・・・・・・・・・・・・・・ 2

(1)　連結経営成績に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・ 2
(2)　連結財政状態に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・ 3
(3)　連結業績予想に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・ 4

２．サマリー情報（その他）に関する事項・・・・・・・・・・・・・・ 5

(1)　当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動・・・・・ 5
(2)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用・・・・・ 5
(3)　会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示・・・・ 5

３．四半期連結財務諸表　・・・・・・・・・・・・・・・ 6

(1)　四半期連結貸借対照表　・・・・・・・・・・・・・・・ 6
(2)　四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書・・・・ 8
(3)　四半期連結キャッシュ・フロー計算書・・・・・・・・・・・・10
(4)　継続企業の前提に関する注記　・・・・・・・・・・・・・・・12
(5)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記・・・・・・12

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1)　連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復旧に伴う内需の持ち直し、サプライチェーンの再構築による国内企業活動の復調など、経済指標には一部明るい兆候が見受けられるようになりました。しかし、一方では、円高の定着による国際競争力の低下、欧州財政危機を端緒とした金融不安による信用収縮の継続、さらに、欧米諸国・中国を始めとする新興国の景気減速等の影響により、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような環境の下、当社グループは強みである移動型ファブレスにより実現した高い柔軟性と機動性を活かし、顧客ニーズや市場環境の変化に対応し、機能性やデザイン性の高い製品の提供を積極的に進めてまいりました。生産面では、製品の主要生産地である中国における原材料・人件費の高騰と為替動向の変化に備えた生産地及び生産工場の見直しや、グループ内での商流の見直しを行うなど、製造原価の抑制に努めてまいりました。

また、連結子会社である上海多来多貿易有限公司においては、平成23年10月より中国国内販売を主目的とした営業活動を開始し、中国国内（香港）での展示会へ製品を出展するなど、今後の事業拡大に向けての施策を展開いたしました。

この結果、当第２四半期連結累計期間における売上高は42億57百万円（前年同期比11.3％の増加）、営業利益は２億円（前年同期比54.7％の増加）、経常利益は２億５百万円（前年同期比128.3％の増加）、四半期純利益は１億13百万円（前年同期比61.0％の増加）となりました。

当社グループの主な販売経路別及び製品分類別の販売実績といたしましては以下のとおりであります。

＜販売経路別業績＞

①　エンドユーザーへの直接販売

幅広い業界に顧客層が分布する強みを活かし、顧客業種別担当の下、販売促進活動の効果測定サービスの活用などの顧客ニーズに沿った提案営業を展開した結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は20億90百万円（前年同期比１億60百万円、8.3％の増加）となりました。

②　卸売業者への販売

製品開発・生産活動の機動性・柔軟性を活かし、社会及び顧客ニーズに沿った製品の提供に努めた結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は21億18百万円（前年同期比２億80百万円、15.3％の増加）となりました。

③　その他

設計・デザイン業務の受託を中心に利益を重視した営業活動を実施した結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は47百万円（前年同期比７百万円、14.1％の減少）となりました。

＜製品分類（一般雑貨製品・エコ雑貨製品・ヘルスケア＆ビューティ雑貨製品・その他）別業績＞

①　一般雑貨製品

当第２四半期連結累計期間中にグッドデザイン賞を受賞した３製品や防災製品などの、機能性・デザイン性に優れた製品の開発・提供を展開した結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は25億88百万円（前年同期比３億20百万円、14.1％の増加）となりました。

②　エコ雑貨製品

環境に配慮した消費活動が叫ばれる社会環境の下、エコバックや冬季の節電対策に対応したフリースなどの防寒対策製品など、機能性・デザイン性・価格優位性の高い環境配慮型製品の開発を進め、広範囲の顧客層に提案営業を展開した結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は14億93百万円（前年同期比94百万円、6.7％の増加）となりました。

③　ヘルスケア＆ビューティ雑貨製品

防寒対策製品・衛生製品などの機能性の高い季節商品の開発を進めるとともに、コンビニエンスストア・ドラッグストア等の販路を活かした製品提供を展開した結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は１億27百万円（前年同期比25百万円、25.5％の増加）となりました。

④　その他

設計・デザイン業務の受託を中心に、利益を重視した営業活動を実施した結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は47百万円（前年同期比７百万円、14.1％の減少）となりました。

(2)　連結財政状態に関する定性的情報

①　資産、負債及び純資産の状況

（流動資産）

当第２四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ２億６百万円増加し、35億47百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加２億36百万円、受取手形及び売掛金の減少60百万円によるものであります。

（固定資産）

当第２四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ46百万円増加し、４億72百万円となりました。主な要因は、無形固定資産の増加46百万円によるものであります。

（流動負債）

当第２四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ２億10百万円減少し、11億63百万円となりました。主な要因は、未払法人税等の減少１億47百万円、短期借入金の減少１億円、１年内返済予定の長期借入金の増加75百万円によるものであります。

（固定負債）

当第２四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ３億64百万円増加し、９億７百万円となりました。主な要因は、長期借入金の増加３億86百万円、社債の減少20百万円によるものであります。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ99百万円増加し、19億48百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加66百万円、繰延ヘッジ損益の増加18百万円によるものであります。

②　キャッシュ・フローの状況の分析

当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、７億１百万円（前年同期比３億76百万円、115.9％の増加）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、当第２四半期連結累計期間に使用した資金は11百万円（前年同期に使用した資金は２億４百万円）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益２億５百万円、法人税等の支払額２億42百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、当第２四半期連結累計期間に使用した資金は33百万円（前年同期に得られた資金は１億６百万円）となりました。主な要因は、無形固定資産の取得による支出22百万円、有形固定資産の取得による支出９百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、当第２四半期連結累計期間に得られた資金は２億77百万円（前年同期比１億23百万円、80.1%の増加）となりました。主な要因は、長期借入れによる収入５億円、短期借入金の減少１億円、配当金の支払額46百万円、社債の償還による支出40百万円、長期借入金の返済による支出38百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年８月期通期連結業績予想に関する事項につきましては、平成23年10月12日に公表いたしました数値から変更はありません。なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

(1)　当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年９月１日 至　平成24年２月29日）
１　固定資産の減価償却費の算定方法	定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法によっております。
２　法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法	繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。
３　未実現損益の消去	四半期連結累計期間末在庫高に占める当該棚卸資産の金額及び当該取引に係る損益率を合理的に見積もって計算しております。 前連結会計年度、または、直前の四半期連結累計期間から取引状況に大きな変化がないと認められる場合には、前連結会計年度または、直前の四半期連結累計期間で使用した損益率を使用して算定しております。

(3)　会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年９月１日　至　平成24年２月29日）
会計処理基準に関する事項の変更	(1)　第１四半期連結会計期間より、「１株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第２号　平成22年６月30日）、「１株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第４号　平成22年６月30日）及び「１株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第９号　平成22年６月30日）を適用しております。 第１四半期連結会計期間において株式分割を行いましたが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、１株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後１株当たり四半期純利益を算定しております。 (2)　第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年８月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年２月29日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	464,828	701,519
受取手形及び売掛金	1,044,399	983,484
製品	1,435,282	1,452,498
その他	402,108	415,575
貸倒引当金	△5,379	△5,183
流動資産合計	3,341,240	3,547,896
固定資産		
有形固定資産	97,157	92,647
無形固定資産		
その他	47,850	94,246
無形固定資産合計	47,850	94,246
投資その他の資産		
その他	283,912	287,094
貸倒引当金	△3,198	△1,904
投資その他の資産合計	280,713	285,189
固定資産合計	425,720	472,083
資産合計	3,766,960	4,019,979
負債の部		
流動負債		
買掛金	536,075	566,299
短期借入金	100,000	－
1年内償還予定の社債	80,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	66,664	142,064
未払法人税等	236,274	88,889
賞与引当金	65,601	59,051
株主優待引当金	1,699	2,322
その他	287,446	244,983
流動負債合計	1,373,761	1,163,610
固定負債		
社債	180,000	160,000
長期借入金	116,670	502,938
退職給付引当金	139,775	145,518
資産除去債務	30,058	30,280
その他	77,191	69,098
固定負債合計	543,695	907,836
負債合計	1,917,456	2,071,446

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年８月31日)	当第２四半期連結会計期間 (平成24年２月29日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	291,951	291,951
新株式申込証拠金	－	2,400
資本剰余金	518,163	518,163
利益剰余金	1,082,341	1,148,974
自己株式	△58	△110
株主資本合計	1,892,397	1,961,378
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△10,307	7,894
為替換算調整勘定	△32,584	△20,739
その他の包括利益累計額合計	△42,892	△12,844
純資産合計	1,849,504	1,948,533
負債純資産合計	3,766,960	4,019,979

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年９月１日 至　平成23年２月28日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年９月１日 至　平成24年２月29日）
売上高	3,824,438	4,257,240
売上原価	2,521,502	2,848,181
売上総利益	1,302,935	1,409,058
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	458,715	454,997
賞与引当金繰入額	51,243	48,202
退職給付費用	13,347	10,015
貸倒引当金繰入額	1,378	373
株主優待引当金繰入額	1,622	2,322
その他	646,827	692,370
販売費及び一般管理費合計	1,173,134	1,208,283
営業利益	129,800	200,775
営業外収益		
受取利息	66	80
デリバティブ評価益	68,314	30,521
匿名組合投資利益	7,069	8,150
その他	9,654	156
営業外収益合計	85,105	38,908
営業外費用		
支払利息	2,273	3,648
為替差損	93,835	27,005
上場関連費用	25,910	－
その他	2,659	3,064
営業外費用合計	124,679	33,718
経常利益	90,226	205,964
特別利益		
保険解約返戻金	59,300	－
特別利益合計	59,300	－
特別損失		
固定資産除却損	52	126
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	12,216	－
特別損失合計	12,269	126
税金等調整前四半期純利益	137,258	205,838
法人税、住民税及び事業税	79,540	93,653
法人税等調整額	△12,846	△1,420
法人税等合計	66,693	92,233
少数株主損益調整前四半期純利益	70,564	113,605
四半期純利益	70,564	113,605

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年９月１日 至　平成23年２月28日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年９月１日 至　平成24年２月29日）
少数株主損益調整前四半期純利益	70,564	113,605
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	－	18,202
為替換算調整勘定	△2,680	11,845
その他の包括利益合計	△2,680	30,047
四半期包括利益	67,884	143,652
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	67,884	143,652
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年９月１日 至　平成23年２月28日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年９月１日 至　平成24年２月29日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	137,258	205,838
減価償却費	24,877	21,907
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	12,216	－
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△5,772	△1,490
賞与引当金の増減額（△は減少）	15,294	△6,549
退職給付引当金の増減額（△は減少）	12,304	5,743
株主優待引当金の増減額(△は減少)	1,622	622
デリバティブ評価損益（△は益）	△68,314	△30,521
受取利息及び受取配当金	△66	△80
支払利息	2,273	3,648
上場関連費用	25,910	－
固定資産除売却損益（△は益）	52	126
保険解約返戻金	△59,300	－
売上債権の増減額（△は増加）	△123,948	62,357
たな卸資産の増減額（△は増加）	△143,100	△7,419
仕入債務の増減額（△は減少）	26,596	28,292
前渡金の増減額（△は増加）	△44,419	△13,862
その他	5,282	△34,249
小計	△181,233	234,363
利息及び配当金の受取額	66	80
利息の支払額	△2,480	△3,599
法人税等の還付額	13,372	28
法人税等の支払額	△34,123	△242,839
営業活動によるキャッシュ・フロー	△204,398	△11,966
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	30,226	－
有形固定資産の取得による支出	△13,964	△9,615
無形固定資産の取得による支出	△8,694	△22,759
資産除去債務の履行による支出	△2,900	－
敷金及び保証金の差入による支出	△14,468	△2,624
敷金及び保証金の回収による収入	15,501	994
保険積立金の解約による収入	100,920	－
その他	－	142
投資活動によるキャッシュ・フロー	106,621	△33,862

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年９月１日 至　平成23年２月28日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年９月１日 至　平成24年２月29日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額（△は減少）	△125,000	△100,000
長期借入れによる収入	－	500,000
長期借入金の返済による支出	－	△38,332
社債の償還による支出	△40,000	△40,000
株式の発行による収入	339,755	－
ストックオプションの行使による収入	－	2,400
自己株式の取得による支出	△58	△51
配当金の支払額	△20,732	△46,649
財務活動によるキャッシュ・フロー	153,964	277,366
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,933	5,153
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	50,253	236,691
現金及び現金同等物の期首残高	274,735	464,828
現金及び現金同等物の四半期末残高	324,989	701,519

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第２四半期連結累計期間（自　平成23年９月１日　　至　平成24年２月29日）

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第２四半期連結累計期間（自　平成23年９月１日　　至　平成24年２月29日）

該当事項はありません。